

「安全に気をつけよう」

生活指導部 吉原 信介

今週からいよいよ学校が始まります。久しぶりに学校に登校するので、子供たちはワクワクしていることでしょう。「早く友達に会いたい」と思い、道路で走り出す子供もいるかもしれません。しかし、走ったり気持ちが焦ったりしているときにこそ、事故は起こるものです。

そこで、学校では以下の3点を重点的に指導していきます。

- ① 青信号でも左右の安全を確認し、車が止まったのを確認してから横断歩道を渡る。
- ② 車を運転している人と目を合わせてから横断歩道を渡る。
- ③ 必ず横断歩道や歩道橋を渡る。

落ち着いて登下校をするよう、御家庭でも言葉掛けをお願いいたします。また、通学路についてお気付きの点がありましたら、御連絡いただきたく存じます。よろしくをお願いいたします。

副校長より

「学校生活の楽しみを増やせるように」

副校長 坪井 由賀里

5月下旬のある日の早朝のこと、校庭を見渡せば木々の緑はさらに数を増し色濃く生長し、タンポポの黄色い花は綿毛をかすかに残すだけの姿へと変わっていました。季節は確実に移り変わり、春も終わろうとしています。昨年の今頃、運動会の練習で活気に満ちていた学校が1年後に臨時休校になり、皆が自粛生活を送るようになるとは夢にも思っていませんでした。当たり前になっていた日々の生活の有難さを今身に染みて感じています。

さて、5月は御家庭で過ごす時間が多かったことと思います。この機会に子供たちにゆっくり読書に親しませたい、しかし図書館や本屋が休業のためもどかしい思いをされているという声が聞こえてきました。そこで、本校では保護者の方の課題提出日の時間に合わせて6日間図書館の貸し出しを行うことにしました。消毒や換気をしっかり行い、3密を避ける工夫を行ったうえで短時間の開放を行ったところ、計389冊の本を子供たちに届けることができました。日頃ですと子供たちが好きな本を選んで読むため本の傾向が偏りがちですが、この期間は大人が子供に読ませたい本を選んでいかれるケースが多く、子供たちの新たな世界を広げるきっかけになったのではないのでしょうか。

本日より学校は再開したものの、日常の学校生活に戻るにはまだ少し時間を要します。

御不便をお掛けすることもあるとは思いますが、常に感染症対策をしっかりと行ったうえで工夫を凝らしながら努力を重ね、子供たちの学校生活の楽しみを少しでも増やせるように日々の生活を積み重ねていきたいと考えています。同時に当たり前になっていた日々の生活が戻ってきたときには、そのことに感謝することも忘れずに過ごしていきたいと思っています。

「心を密に」

主幹教諭 岩崎 実

新型コロナウイルスの感染拡大により「密を避けるように」との政府から指示があり、今まで不要不急の外出を控えながらなるべく人との接触を避けるようにしてまいりました。その中で、課題提出のために来校していただいている保護者の皆様を校門で迎えていると、「先生方も大変ですね」「早く学校が再開されるといいですね」と、温かい言葉をかけていただくことがあり、とても嬉しい気持ちになりました。また、「子供が先生方の動画を見て喜んでます」という話を伺うこともあり、子供たちが私たちのメッセージをしっかりと受けとめてくれているのだ、と安心するとともに、家庭での子供たちの様子を思い浮かべながら会えることを心待ちにしておりました。私は「人との接触を避けなさい」といわれている中で、改めて人と人との繋がり大切さを実感することができました。

分散登校という形であるものの本日から学校が再開されます。これからの感染拡大を防ぐための対策をしっかりと行うことを前提にしながら、子供たちとの「心の密」はしっかりとっていきたくて考えております。